第70回長崎大学 FD 実施報告書

平成 24 年 1 月 5 日 提出

1. 題目	高等教育の質保証と学習支援 －発達凸凹の学生への配慮を起点として－
2. 開催日時・場所	日時：平成 23 年 12 月 12 日（月）15：00～16：30 場所：長崎大学総合教育研究棟２F 多目的ホール
3. 主催	長崎大学学生相談支援等協議会
4. 参加者数	６１人 （別紙名簿のとおり）
5. 長崎大学 FD に関する指針第二項への該当について 【複数選択可】	該当するものに○を記入すること [○] (1) 教員の教育活動に関するもの [ ] (2) カリキュラムの改善に関するもの [ ] (3) 教育の組織的改善に関するもの [○] (4) その他教育改善に関するもの
6. 今回の FD の主旨・意義	教員が教育活動を行うには精神的な状況を明確に把握することが必要であります。本講演を拝聴していただくことで、教員が、自らのメンタル面を知ることはもちろん、学生のメンタル面がどのようなものであるかを明確に把握していただき、各教員の教育活動に万全を期してもらうことが講演の主旨と意義であります。また職員等を講演会に参加させることで、有機的に学内のメンタル面の認識の向上が可能になります。
7. プログラム構成 [題目・担当講師])	構　　成：講演 ・講演－90 分（質疑応答含む） [題目・担当講師] 題　　目：高等教育の質保証と学習支援 －発達凹凸の学生への配慮を起点として－ 担当講師：金沢大学　大学教育開発・支援センター 教育支援システム研究部門　教授　青野　透
8. 実施した FD の成果等)	発達障害についての認識を広めることができた。 （アンケートで期待した内容との評価が高い。）
9. 実施代表者の連絡先	氏名：田山　淳 部局：保健・医療推進センター　准教授 e-mail：jtayama@nagasaki-u.ac.jp　　内線：3174
10. 申請者の連絡先	氏名：木原　誠治 部局：学生支援部学生支援課生活支援班長 e-mail：kihara@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2102

平成23年度メンタルヘルス講演会　アンケート集計

H23.12.12

1. 対象および回収率

	長大教職員		外部		計	
参加者数	48		13		61	
回収数　　回収率	34	71%	11	85%	45	74%
教育職員	25	74%				
事務職員	3	9%				
技術職員	6	18%				
学生その他			11	100%		

2. あなたの性別は

	長大教職員		外部		計	
男	27	79%	2	18%	28	62%
女	7	21%	9	82%	16	36%

3. 昨年のメンタルヘルス講演会に参加されましたか

	男	%	女	%	計	%
参加した	10	34%	5	31%	15	33%
しなかった	18	62%	11	69%	29	64%
未記入	1	3%	0	0%	1	2%
計	29		16		45	

4. 参加動機について(複数回答可)

	男	%	女	%	計	%
自分自身や家族のため	4	14%	1	6%	5	11%
仕事上必要なので	23	79%	12	75%	35	78%
メンタルヘルスに関心があるから	10	34%	10	63%	20	44%
社会的関心が高まっているから	2	7%	0	0%	2	4%
その他	3	10%	1	6%	4	9%
計	42		24		66	
実数	29		16		45	

5. 講演会をどのようにして知りましたか(複数回答可)

	男	%	女	%	計	%
ポスター	4	14%	3	19%	7	16%
Eメール	24	83%	9	56%	33	73%
友人から誘われて	0	0%	0	0%	0	0%
長崎大学ホームページ	3	10%	0	0%	3	7%
担当者からのすすめ	1	3%	0	0%	1	2%
上司からのすすめ	1	3%	2	13%	3	7%
部局通知	5	17%	4	25%	9	20%
小・中・高校からの通知	0	0%	0	0%	0	0%
その他	2	7%	3	19%	5	11%
計	40		21		61	
実数	29		16		45	

6. 講演の内容は期待にあっていましたか

	男	%	女	%	計	%
期待した内容でとても良かった	12	41%	5	31%	17	38%
まあまあ良かった	15	52%	10	63%	25	56%
期待にそわなかった	1	3%	0	0%	1	2%
その他	0	0%	0	0%	0	0%
未記入	1	3%	1	6%	2	4%
計	29	100%	16	100%	45	100%

7 今後メンタルヘルスに関する講演でどのような内容を希望しますか

・学内の具体事例の紹介と対応状況についての解説をお願いしたい。
・教職員のメンタルヘルス。.
・凸凹学生への指導方法をもっと知りたい。
・うつ病などの人に対する対応の仕方、サポートの仕方、声のかけ方。
・発達凸凹学生に対して、対応に迷うような事例の解決法などを、具体的に示す内容を希望。
・発達障害などへの具体的対応例など（学校全体での取組例）。
・具体的な対応、あるいは解決方法など、学生と接する教員の立場で有益なもの。
・映像・視覚イメージグループに対して、具体的にどのような授業方法があげられるのか。
・自然科学的なものを含むと、興味もでる。
・復職支援。職場でのメンタルサポート系。.
・高専の話を聞いてみたい。
・長大の学生の中で、どのような障害学生がいて、どういう現れをしているのかを知りたい。
現況を知ったうえで、学生との関わりを見直したい。
・大学教員の人格的問題。
・アメリカで行われているという発達凸凹の子ども達を、才能児とみなし、特別な学習支援を行っているという話が興味深かったので、具体的にどのような学習支援をおこなっているのかを知りたいと思った。
・思春期～青年期の学生・生徒への意識改革方法について。

8 感想・意見等を自由にお書きください。

・私は専門学校の事務で学生と関わっていますが、教員・職員が連携をとることで、学業・学校生活前面で学生のサポートが大切だと感じました。実践へ移せそうな内容があったので、できるところから仕組みと協力体制をつくりたいと思いします。ありがとうございました。
・とても勉強になりました。
・たまたま学内の人からメールを貰ってこの講演会を知りました。もっと広く宣伝して頂ければいいと思います。
・社会科学的なもの、自然科学的なものの両方について、バランスがとれたものだった。
・字が多かった。（PPTの）
・他人の本の引用が多すぎた。
・メンタルヘルスではなく、後半の教育の質の改善が非常に役に立った。しかし、教育大学か研究大学かを区別されるとき、教育に力を入れすぎると「バカにされる」雰囲気がある。
・発達凸凹の概念・対応等は参考になりました。
・組織的な取組について、もっと具体的に伺いたかったです。
・アメリカでは発達凸凹の子どもを才能児とみなし、特別支援の学習を行っているという話が興味深かった。発達凸凹をマイナスのイメージとしてとらえてはいけないと感じた。
・今日はお話をしていただきありがとうございました。子どもたちと向き合う場面だけでなく、それ以外の自分の生活においても役立つことを得ることができました。

No. 0

受　講　証　明　書

〇〇〇〇
　〇〇　〇〇　殿

　下記のとおり第 70 回長崎大学ファカルティ・ディベロップメントを受講したことを証明します。

記

日　時　平成 23 年 12 月 12 日（月）
テーマ　長崎大学メンタルヘルス講演会
「高等教育の質保証と学習支援
－発達凸凹の学生への配慮を基点として」

平成　　年　　月　　日
長崎大学大学教育機能開発センター長
橋　本　　健　夫

平成23年度長崎大学メンタルヘルス講演会

「高等教育の質保証と学習支援－発達凸凹の学生への配慮を基点として」

日時：平成23年12月12日（月）15:00～16:30
場所：総合教育研究棟2F多目的ホール（文教キャンパス）
受講証対象者：47名（参加者61名）

	氏　名	所　　属	役　職	
1	調　漸	保健医療推進センター	教授	共催（センター長）
2	林田　雅希	保健医療推進センター	准教授	
3	田山　淳	保健医療推進センター	准教授	共催（座長）
4	山本　隆	保健医療推進センター	係長	
5	財部　慎平	保健医療推進センター	事務職員	
6	富永　ちはる	保健医療推進センター	技術職員	
7	福原　視美	保健医療推進センター	技術職員	
8	前田　真由美	保健医療推進センター	技術職員	
9	ﾊﾞｰﾆｯｸ　ﾋﾟｰﾀｰ	保健医療推進センター	技術職員	
10	西郷　達雄	保健医療推進センター	技術職員	
11	小川　さやか	保健医療推進センター	技術職員	
12	池田　美穂	やってみゅーでスク	事務補佐員	
13	中村　浩之	学生支援部	部長	
14	松林　聰	学生支援部	課長	
15	木原　誠治	学生支援部	班長	
16	尾下　徳彦	学生支援部	主査	
17	堀内　伊吹	教育学部	教授	主催（議長）
18	内野　成美	教育学部	准教授	
19	宮下　茂	教育学部	准教授	
20	高久　祐輔	教育学部	学生	
21	坪谷　真理子	教育学部	学生	
22	岩見　春輔	経済学部	大学院係長	
23	宮原　春美	医歯薬学総合研究科（保）	教授	
24	中尾　理恵子	医歯薬学総合研究科（保）	准教授	
25	池田　通	医歯薬学総合研究科（歯）	教授	
26	齋藤　俊行	医歯薬学総合研究科（歯）	教授	
27	岡田　幸雄	医歯薬学総合研究科（歯）	准教授	
28	尾野村　治	医歯薬学総合研究科（薬）	教授	
29	田中　隆	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
30	宮元　敬文	医歯薬学総合研究科（薬）	助教	
31	工藤　愛知	工学研究科	教授	
32	夛田　彰秀	工学研究科	教授	
33	末吉　豊	工学研究科	准教授	
34	藤島　友之	工学研究科	准教授	
35	田中　俊幸	工学研究科	准教授	
36	勝田　順一	工学研究科	准教授	
37	原澤　隆一	工学研究科	助教	
38	野村　謙次	工学研究科	技術職員	
39	梶　聖悟	工学研究科	技術職員	
40	寺原　雅子	工学研究科	技術職員	

	氏　名	所　　属	役　職	
41	森　理恵	工学研究科	事務補佐員	
42	鈴木　利一	水産･環境科学総合研究科（水）	教授	
43	市川　寿	水産･環境科学総合研究科（水）	准教授	
44	桑野　和可	水産･環境科学総合研究科（水）	准教授	
45	福島　邦夫	水産･環境科学総合研究科（環）	教授	
46	中山　幸枝	環境科学部	係長	
47	松村　真樹	留学生センター	准教授	
48	高橋　正克	大学教育機能開発センター	教授	
49	山地　弘起	大学教育機能開発センター	准教授	
50	ﾙｰﾙ･ﾄﾞｰﾝ･ﾐｼｪﾙ	大学教育機能開発センター	講師	
51	土井　緑子	学外（長崎県立大）		
52	田中　かおり	学外（長崎県立大）		
53	吉田　美津子	学外（長崎総合科学大学）		
54	安田　眞由美	学外（長崎外国語大学）		
55	苑田　三鈴	学外（佐世保高専）		
56	橋本　とよみ	学外（長崎市医師会看護専門学校）		
57	庄司　博子	学外（長崎市医師会看護専門学校）		
58	小濱　和美	学外（大村看護高等専修学校）		
59	土井　美由紀	学外（九州医学技術専門学校）		
60	西尾　真弓	学外（長崎女子高等学校）		
61	西　浩史	学外（ﾒﾄﾛｺﾝﾋﾟｭｰﾀｶﾚｯｼﾞ）		

受講証は発行しない。